

平成 25 年 4 月 9 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 矢崎 雄一郎
(コード番号：2191)
問合せ先 取 締 役 山 本 龍 平
電 話 0 3 - 6 2 7 2 - 6 4 7 7

株式会社日本網膜研究所への出資に関するお知らせ

～世界初の iPS 細胞技術の実用化を目指す理化学研究所認定ベンチャー企業と株式引受契約を締結～

当社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎）は、本日、iPS 細胞^{※1}を用いた世界初の再生医療の実用化を目指す株式会社日本網膜研究所（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：鍵本 忠尚、以下「日本網膜研究所」）と、出資に関する株式引受契約を締結いたしました。本契約に基づき、当社は日本網膜研究所に対して平成 25 年 4 月 10 日を払込期日とする総額 100 百万円の出資をいたします。

日本網膜研究所は、独立行政法人理化学研究所認定のベンチャー企業であり、加齢黄斑変性^{※2}などの、十分な治療法が無い失明疾患を治療することが可能となる、iPS 細胞由来の網膜色素上皮細胞移植の新たな治療法の研究・開発を推進しています。ヒトは知覚情報の 8 割を視覚から得ており失明すると日常生活を送ることが困難となるため、日本網膜研究所は、本研究開発により患者の皆様の失明の恐怖を少しでも減らすことを目指しています。また、本治療法は、平成 25 年 2 月に厚生労働省に臨床試験の実施計画を申請しており、iPS 細胞を用いた再生医療で世界初の臨床研究となると期待されています。

当社は、樹状細胞ワクチン療法^{※3}をはじめとした再生・細胞医療に関する研究開発を推進しており、日本網膜研究所との協働関係を通じて、最先端医療の発展に貢献してまいります。

なお、本件による今期業績への影響は軽微であります。

【出資の内容】

引受株数	1,000 株（普通株式）
割当て方法	第三者割当
引受価額の総額	100,000,000 円（1 株当たりの発行価額 100,000 円）
払込期日	平成 25 年 4 月 10 日

【株式会社日本網膜研究所の概要】

代表者	代表取締役社長 兼 CEO 鍵本 忠尚
所在地	福岡県福岡市東区
設立	平成23年2月
従業員数	8名（平成25年4月1日現在）
資本金	751百万円
事業内容	iPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植治療の開発

【※1】 iPS細胞

iPS細胞とは、皮膚、血液などの体細胞に、いくつかの遺伝子を導入することによって作り出された、様々な組織や臓器の細胞に分化する能力（多能性）と、ほぼ無限に増殖する能力を持った、人工多能性幹細胞（induced pluripotent stem cell）です。

【※2】 加齢黄斑変性

年齢を重ねるとともに網膜色素上皮の下に老廃物が蓄積し、それにより直接あるいは間接的に網膜の中心にある黄斑部が障害され、視力や視野が低下する病気です。

加齢黄斑変性には、滲出型（新生血管型・ウェット型）と非滲出型（萎縮型・ドライ型）があります。日本人に多いウェット型は、網膜色素上皮の下から新しい血管が生えてくるのが特徴で、最初は無湿型を対象とした網膜色素上皮シート移植の臨床試験を行う予定となっています。

【※3】 樹状細胞ワクチン療法

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの目印である物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球にがん細胞のみを狙って攻撃させる新しいがん免疫療法です。

以上